

花いっぱい運動研修会を開催しました！

県では、花であふれる美しいまちづくりを目的とした「花いっぱい運動」を展開しています。その活動の推進役となる「花いっぱい運動推進員」が各地域の公民館や公園、道路沿いなどで、花の植栽や管理に取り組んでいます。



福井市 明新地区



福井市 啓蒙地区

さらなる知識・技術の習得のため、令和2年10月1日、福井市美術館において、推進員20名を対象に研修会を開催しました。花壇アドバイザーから花の管理や花壇デザインに関する講義を受け、寄植えの実習を行いました。参加者からは「これまで悩んでいたことが解決した。」「自分のレベルアップにつながった。また参加したい。」といった声が寄せられ、実りある研修となりました。

県は今後も花で景観を彩り、美しいまちづくりを進めていきます。

(林業部 辻野)



寄植えの講義



推進員による寄植えの実習



 発行：福井県 福井農林総合事務所
〒910-8555 福井市松本3丁目16-10(福井合同庁舎内)
TEL 企画振興室(直通) 0776-21-8201
農業経営支援部(直通) 0776-21-8209
林業部(直通) 0776-21-8213
農村整備部(直通) 0776-21-8216
E-Mail: fuku-noso@pref.fukui.lg.jp

F-mail

No.63
令和2年12月発行

福井農林総合事務所だより

九頭竜川地域パイプラインの校外学習を開催しました！

令和2年度、小学5年生の教科書「新しい社会5(東京書籍)」に九頭竜川地域パイプラインが掲載されました。福井の米づくりが教科書に掲載されたのは初めてで、用水路がパイプライン化されたことやそのメリットが見開き2ページにわたって紹介されています。



県下で最大の穀倉地帯である当地域の農業とパイプラインの仕組み等をさらに理解してもらうために、令和2年9月15日に福井市明新小学校5年生を対象に、パイプラインを管理する九頭竜川下流鳴鹿中央管理所敷地内において校外学習を開催しました。

当日は好天に恵まれ、171名の児童が、地中に埋まっているパイプラインを再現した模型を見たり、水田へきれいな水を流すための工夫を聞いたりしながら、10箇所の見学箇所を巡りました。

校外学習中の児童たち



児童の感想

校外学習を振り返って～鳴鹿大堰を見学して～
明新小学校5年
今日はわたしたちのために見学のガイドと大堰の説明をしていただきありがとうございました。
鳴鹿大堰の見学を知り、川もパイプラインの説明を聞ける楽しみでした。特にスマート農業についての説明とごみについての説明が印象に残りました。スマート農業では実際にボタンを押していただけで水が出るのを体験できても身に感じられました。ゴミの話では実際にあったことを話してくれたり、費用を例として教えてくれたりしてとても勉強になりました。他にもあつたが所て説明してくれた方々の話を全て知ったよつて、鳴鹿大堰に行かないとわからないから機会があれば行ってみたいよつて、今日の学習に生かしていきます。

※ 当事務所では、小学校へ出向いての出前授業も実施しています。学校教育への活用をご検討される教育関係者の方は、農村整備部計画管理課までご連絡ください。

(農村整備部 音野)

大規模水田園芸に取り組む農家を応援しています！

県では、水田農業がこれからも継続・発展していけるよう、より高収益が見込める園芸品目(野菜)の導入、いわゆる「水田園芸」を推進しています。

当事務所では、水田を活用して売り上げ1,000万円の規模で園芸生産を行う経営体「大規模水田園芸モデル経営体」の育成に取り組んでいます。

脱サラして白ネギ栽培に挑戦！

生産者 谷口昭仁さん(50歳)

品目 白ネギ 2ha

栽培地域 福井市 篠尾町、稲津町

きっかけ 谷口さんは脱サラして、ふくい園芸カレッジに入学し、平成29年に新規就農しました。カレッジで経営品目を検討した結果、機械化作業体系が確立されており、省力的で栽培が比較的容易と考えられたのが白ネギでした。



谷口さん 白ネギ収穫の様子

今後の展開 谷口さんは、就農してから段階的に機械整備を進め、今年は2haまで規模を拡大し、売上1,000万円を目指しています。将来的には白ネギの契約出荷やネット販売を行ったり、白ネギ以外の品目にも挑戦したりすることで、経営の安定を図りたいと考えています。

担当普及指導員より 水田で白ネギを栽培するには、排水対策が重要です。今年は、排水の良いほ場を選び、より排水性を高めるため、額縁排水溝や畦切りを徹底しました。また、生育や天候に合わせて土寄せや防除などの適期管理ができるよう、毎週ほ場の巡回指導を行っています。今後も一歩ずつ改善を重ね、栽培のモデル的経営体となれるよう、一緒に取り組んでいきます。

集落組織で機械導入、五領タマネギ生産を拡大中！

生産者 農事組合法人すえまさファーム

品目 タマネギ(五領タマネギ) 2.6ha

栽培地域 永平寺町 松岡末政

きっかけ 旧松岡町五領地区では、古くから九頭竜川中洲の排水の良い土壌を利用して五領タマネギが栽培されていました。近年では植付や収穫作業の機械化一貫体系による省力的な栽培が確立され、大規模栽培が可能となったため、水稲に次ぐ経営主要品目として、本格的にタマネギ栽培に取り組んでいます。



今後の展開 永平寺町はJAとともに「永平寺町タマネギ協議会」を立ち上げ、タマネギを町の特産野菜として推進しています。そのため、集落組織におけるタマネギ栽培の取組みモデル経営体となり、地域への普及を図りたいと考えています。



すえまさファーム タマネギ収穫の様子

担当普及指導員より 平成28年に^{はしゅ}播種機や移植機、収穫機、選別機など、種まきから出荷までの一通りの機械を導入し、本格的なタマネギ栽培を始めました。平成28年の作付面積は1haでしたが、令和2年では2.6haにまで拡大しています。

タマネギは9月に種をまき育苗を始めますが、暑さが残る時期の育苗は特に注意が必要です。今年は育苗ハウスを設置し、ベンチ育苗を導入して良質苗の安定生産を図り、さらなる収量アップを目指しています。将来の作付目標面積を5haとし、タマネギ栽培で経営を安定させることができるよう支援していきます。

当事務所ではこれからも水田園芸に取り組む方を支援し、「夢がかなう農業」の実現を目指していきます。

(農業経営支援部 桑原、山口)

旬野菜の美味しいピクルスが商品化されました！

福井市中新田町の清水慎介さん・江梨華さん夫妻が、自分たちで栽培した野菜を使い、素材の味を生かしたピクルスを商品化しました。野菜本来の味を損なわず仕上げるのが難しかったものの、専門家からアドバイスを受けながら、ハーブ・香辛料の量や種類を野菜ごとに検討し、おいしさの詰まったピクルスが完成しました。



キュウリ、ニンジンのほか、カラフルなトマト、緑と白のオクラ(和風)の4種類を販売しています。今後はピーツなど新品目を追加していく予定です。福井の旬野菜をぜひ味わってみてください。販売場所: JA福井県農産物直売所「喜ね舎 愛菜館」(福井市河増町9-10-1)

販売価格: 600円(税込み)、1袋160g入り

(農業経営支援部 田安)